

村岡・深沢の まちづくり

両地区一体の
まちづくりと新駅設置

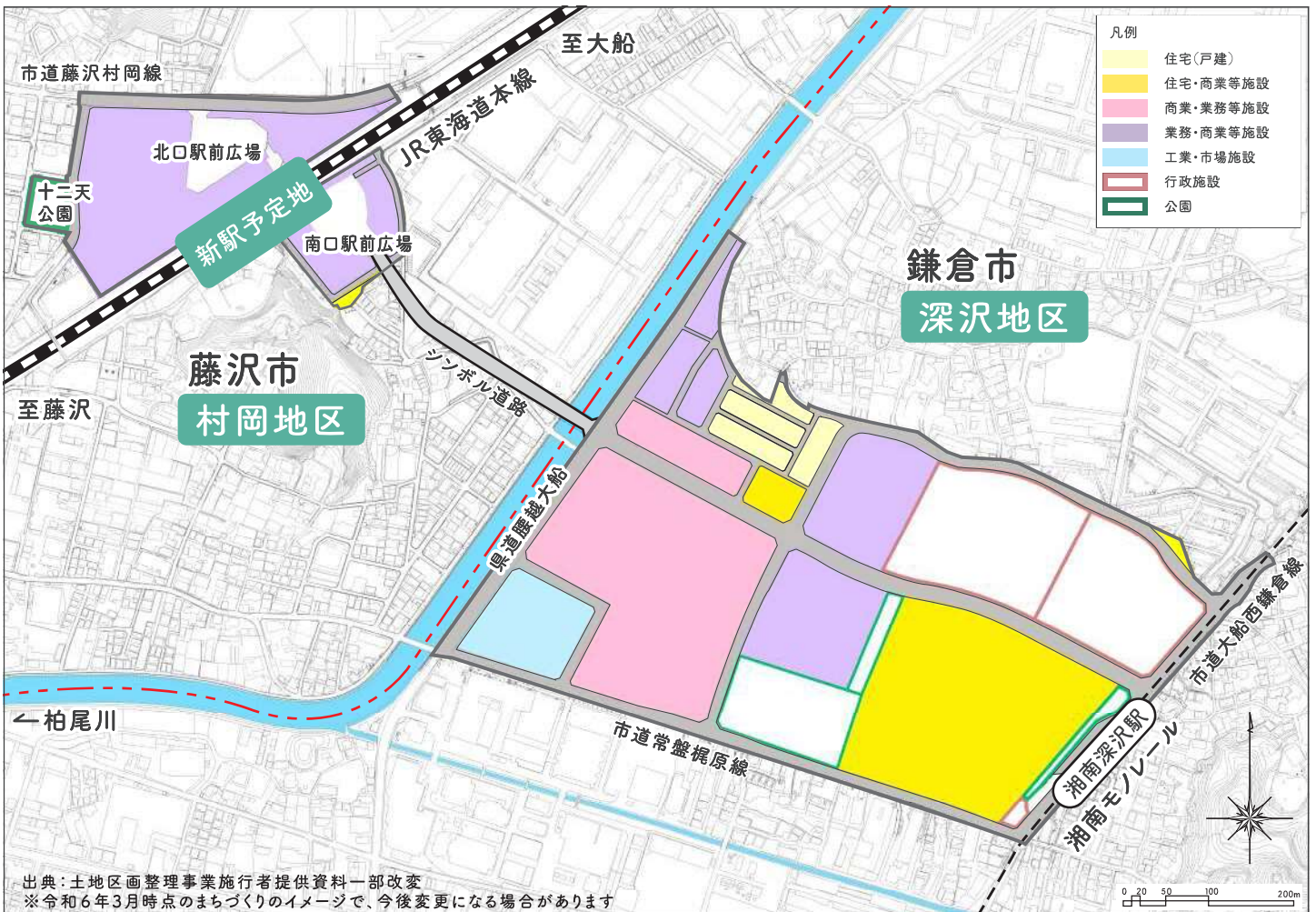


村岡・深沢地区の現状

■ 藤沢市村岡地区はJR東海道本線の大船駅と藤沢駅の間に、鎌倉市深沢地区は湘南モノレール湘南深沢駅の駅前にそれぞれ位置しています。両地区は市境となる柏尾川を挟んで近接しており、周辺には医療・福祉産業や知的産業が集積するなど、環境の優れた住宅市街地も立地しています。

■ 村岡・深沢地区では、昭和62年の国鉄改革により生まれた未利用地の有効活用を図るため、新たなまちづくりの検討を重ねてきました。

まちづくりのイメージ



主な事業概要

村岡・深沢地区 土地区画整理事業

施行者

独立行政法人都市再生機構

地区面積

藤沢市村岡地区 約7.3ha
鎌倉市深沢地区 約31.1ha

事業計画認可

令和5年10月30日

事業期間

事業計画認可～令和20年度
(清算期間を含む)

村岡新駅(仮称) 整備事業

施行者

東日本旅客鉄道株式会社

開業予定

令和14年頃



新駅の完成イメージ図

※バスは現時点でのイメージであり、
実際とは異なる場合があります。
※イメージ図提供:JR東日本

シンボル道路整備事業

○村岡新駅南口通り線

施行者

藤沢市

延長

約270m

事業認可

令和5年10月13日

事業期間

事業認可～令和13年度

※橋りょう部は、鎌倉市の施行です

○深沢村岡線ほか(橋りょう部)

施行者

鎌倉市

延長

約40m

事業認可

令和5年10月13日

事業期間

事業認可～令和13年度

※令和6年3月時点の事業概要で、今後変更になる場合があります

村岡・深沢地区のまちづくり

両地区では、JR東海道本線大船駅～藤沢駅間の新駅設置とともに、医療・福祉産業、知的産業が集積している立地を生かし、最先端ヘルスケア産業が集積するイノベーション拠点の形成を目指し、一体的なまちづくりに取り組んでいます。

具体的なまちづくりの考え方や土地利用の方向性は、村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック、鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインにて定めています。

村岡地区のコンセプトブック

将来地区像

尖る創造と広がる創造を生み出す街

村岡のまちづくりでは、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」で掲げる将来地区像で示すとおり、“創造”をテーマに村岡の文化や緑、立地特性を生かしながら、共創による村岡らしいまちづくりを進めます。“創造”を生み出すためには、“創造性”を育むことが重要と考えており、創造性を育むための環境づくり、プロセスづくりを目指します。

“創造性”を育むための3つのビジョン

- くらし ～日々のくらしの中で創造性を育む～
- けしき ～自然や歴史・文化に根差して創造性を支える風景を紡ぐ～
- しくみ ～多彩な個性の出会いつながりながりがまちの創造性を発揮する～



出典：村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック

深沢地区のガイドライン

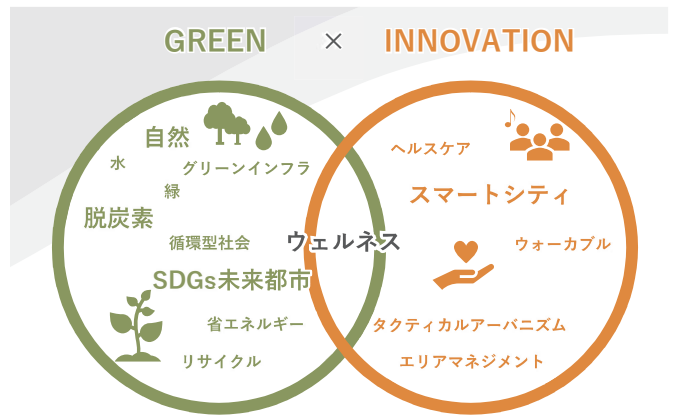
まちのコンセプト

GREEN × INNOVATION 深沢

～地球の未来を守るための鎌倉深沢の新たな挑戦～

深沢のまちづくりは、今までの鎌倉の取組をさらにパワーアップさせ新たな技術を積極的に取り入れ、多種多様な人々が深沢に集い、活動することで新しいイノベーションを生み出し、今までにない発想で、自然や緑、地球を守るための課題解決につながるまちを創り上げ、まちづくりのテーマである『深沢のウェルネス』を実現します。

深沢地区で生み出すイノベーションが少しずつ広がり、日本、そして世界の課題解決につながるエネルギーを持ったまちを目指します。



出典：鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインVer.1

スケジュール

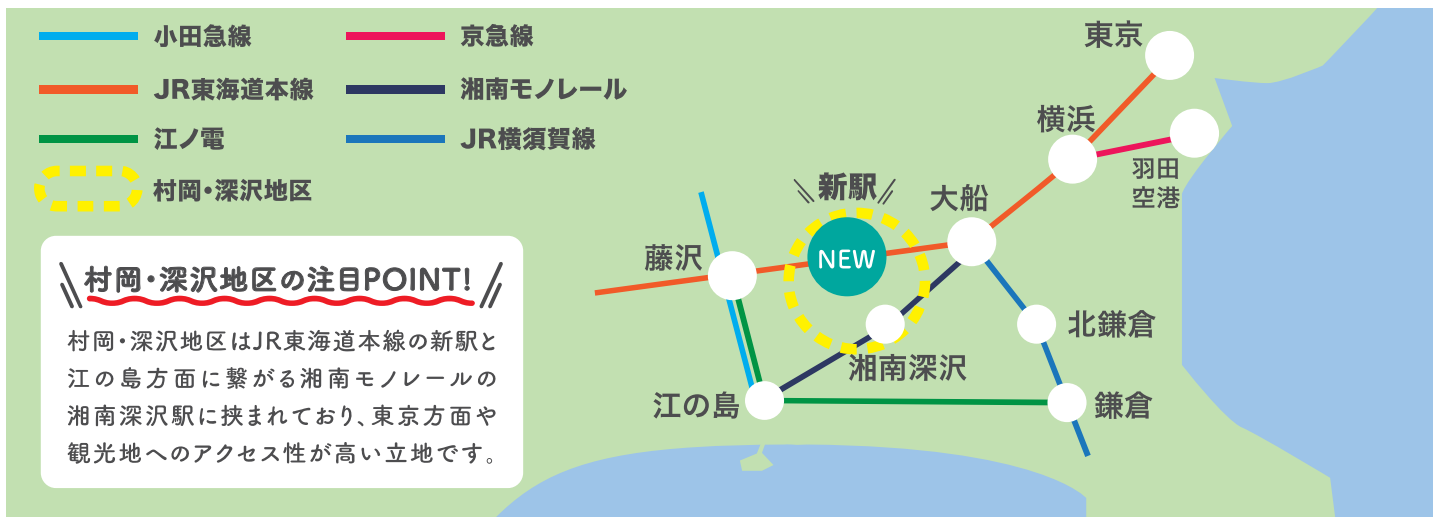
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度以降
村岡・深沢地区 土地区画整理事業	詳細設計・工事等									換地処分
村岡新駅(仮称)整備事業	工事								開業 (令和14年頃)	
シンボル 道路整備 事業	村岡新駅南口通り線	詳細設計等	工事				完成			
	深沢村岡線ほか(橋りょう部)		詳細設計等	工事		完成				

※令和6年3月時点のスケジュールで、今後変更になる場合があります

村岡・深沢地区のまちづくりに関する経緯

昭和60年(1985年)11月	村岡地区で、国鉄湘南貨物駅が廃止
昭和61年(1986年)6月	村岡地区で、村岡地区自治町内会連合会が市議会に対し、国鉄湘南貨物駅の用地等に関する請願を提出(全会一致で採択)
昭和62年(1987年)4月	国鉄民営化に伴い、村岡地区では湘南貨物駅跡地、深沢地区ではJR東日本鎌倉総合車両センターの一部を国鉄清算事業団に移管
平成6年(1994年)2月	湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会設立 (神奈川県、藤沢市、鎌倉市、住宅都市整備公団、JR東日本、日本国有鉄道清算事業団)
平成10年(1998年)4月	「湘南地区都市拠点総合整備事業推進協議会」を「湘南地区整備連絡協議会」に改名(神奈川県、藤沢市、鎌倉市)
平成20年(2008年)3月	村岡・深沢地区全体整備構想(案)を作成
平成30年(2018年)12月	神奈川県、藤沢市、鎌倉市で、「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅(仮称)設置に関する合意書」を締結
令和3年(2021年)2月	神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本で、「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置に関する覚書」を締結し、新駅を設置することに合意
令和3年(2021年)3月	神奈川県、藤沢市、鎌倉市、UR都市機構で、まちづくりに関する役割分担等を定めた「村岡・深沢地区のまちづくりに関する基本協定」を締結 藤沢市、鎌倉市、UR都市機構で、土地区画整理事業の施行に関し基本的な方針及び役割分担等を定めた「村岡・深沢土地区画整理事業の施行に関する基本協定」を締結
令和4年(2022年)3月	村岡・深沢地区土地区画整理事業等の都市計画を決定 神奈川県、藤沢市、鎌倉市、JR東日本で、「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置及び自由通路整備に関する基本協定書」を締結
令和5年(2023年)3月	藤沢市、鎌倉市、UR都市機構で、「村岡・深沢地区土地区画整理事業の施行に関する実施協定」を締結
令和5年(2023年)10月	UR都市機構が、「村岡・深沢地区土地区画整理事業」の事業計画認可を取得

アクセス



【問合せ先】

神奈川県県土整備局都市部都市計画課 電話 045-210-6178
 神奈川県ホームページ: <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/a7k/20210603.html>

藤沢市都市整備部都市整備課 電話 0466-50-3543
 藤沢市ホームページ: <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>

鎌倉市まちづくり計画部深沢地域整備課 電話 0467-61-3760
 鎌倉市ホームページ: <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyoten/fuka.html>

本紙は、神奈川県、藤沢市、鎌倉市で構成する湘南地区整備連絡協議会で作成したものです。